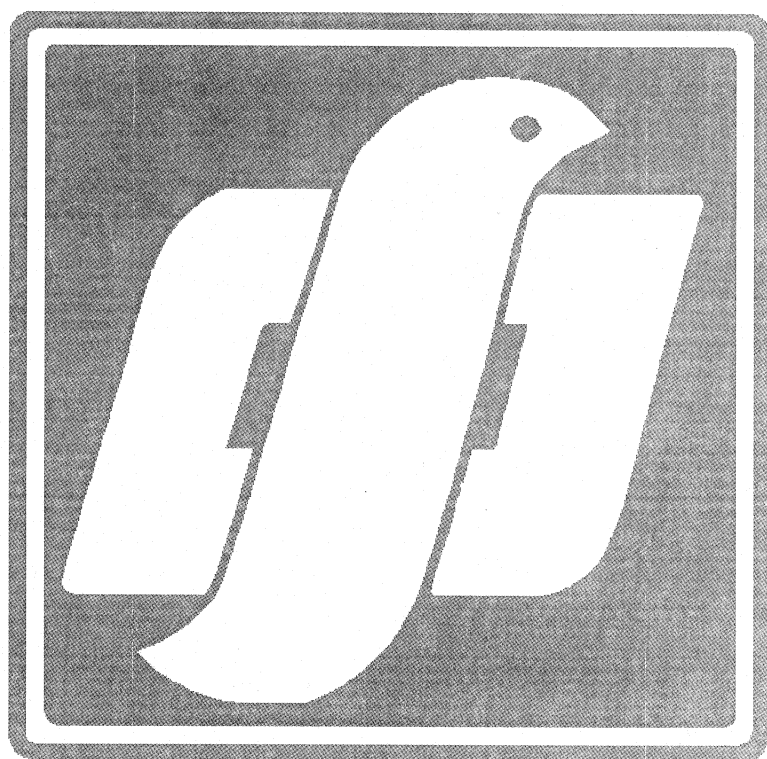


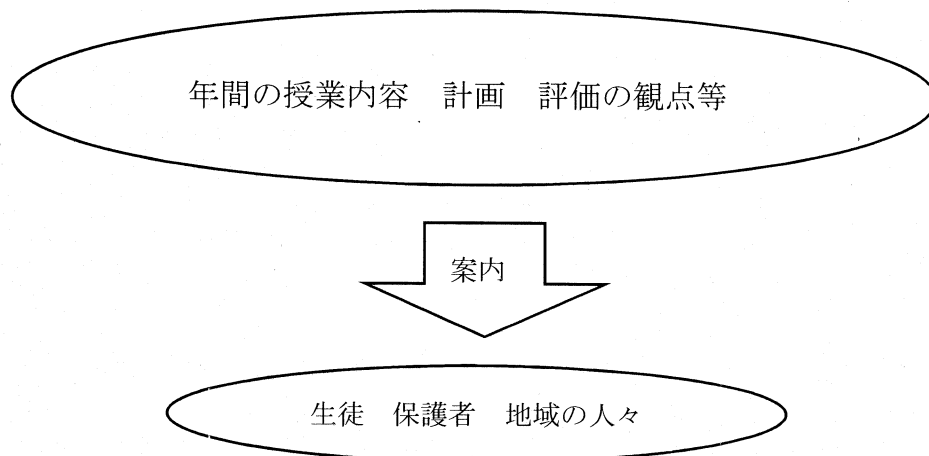
令和 8 年度

第 1 学年 学習案内



さいたま市立第二東中学校

「学習案内」とは何か？



学習案内とは、学校で行われる授業などの年間の学習内容であり、教科の目標、内容、使用教材、学習計画、学習上のアドバイス、評価方法などをお伝えするためのものです。これから、何を何のために、いつ、どのように学ぶかをお知らせします。

学校として年間指導計画を示すことで、生徒のみなさんがこの1年間でどのようなことを学習するのかがわかり、学習計画を立てる上で役に立ち、より意欲的に学習に取り組むための手助けとなります。また、各単元（章）ごとのねらいが前もってわかることで、生徒のみなさんが何を頑張ればよいか、具体的に目当てをもつことができます。保護者のみなさまにとってもお子様との対話のきっかけになります。学習を進める上で十分にご活用ください。

評価・評定について

1 学習評価について

学習評価は、学習指導要領の示す学習目標の到達度に応じて決めていきます。教科ごとに「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点別目標の到達度によって、A、B、Cの3段階で評価します。また、これらの観点別評価を総括して数値として示す5段階の評定があります。現在の評価方法は、いわゆる相対評価とは違い、学習集団内での位置や順位を基準として評価を決めることはありません。したがって、努力して目標に到達した生徒が多く、十分に満足できる生徒が多くなれば評定の高い生徒が多くなります。

2 学習の記録について

必修教科の「観点別学習状況」の評価A・B・Cと、「評定」の5・4・3・2・1については、次のようにまとめられます。

	観点別学習状況
A	十分満足できる
B	満足できる
C	努力を要する

	評 定
5	「十分満足のできるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されるもの
4	「十分満足できる」状況と判断されるもの
3	「おおむね満足できる」状況と判断されるもの
2	「努力を要する」状況と判断されるもの
1	「一層努力を要する」状況と判断されるもの

3 本校における観点別学習状況の評価の評定への総括について

本校では、観点別学習状況の評価の評定への総括について、次のように基準を定めております。

観点別評価の組合せ		評定
A A A		5
A A B		4
A B B	A A C	3
B B B	A B C	
B B C	A C C	
B C C		2
C C C		1（または2）

国語科 第1学年

1 目標

- (1) 自分の意見や考えを大切に、目的や場面に応じて的確に話したり、聞いたりする能力を高め、話し言葉を大切にしようとする態度を育てよう。
- (2) 必要な材料を基にして自分の考えをまとめ、的確に書き表す能力を高め、進んで書き表そうとする態度を育てよう。
- (3) 様々な種類の文章を読み、内容を的確に理解する能力を高め、さらに読書に親しみ、ものの見方や考え方を広げよう。

2 学習計画と内容 A【話す・聞く】 B【書く】 C【読む】

学期	学習内容 (単元名・教材名・学習材など)	学習を進めるうえでのアドバイス
1	- ふしぎ - 四季の詩 - 聞くということ - 桜蝶 - 自分の脳を知っていますか - 言葉の単位、文の成分【知識・技能】 - 書写【知識・技能】 - 漢字の部首【知識・技能】 - 日本語の音声【知識・技能】 - お気に入りの一品を紹介する - ベンチ - すべては編集されている	思考・判断・表現 A・他人の意見を聞き、自分の考えとの共通点・相違点を整理しよう。 B・書き方の基本を理解し、工夫した文章を書こう。 C・本文で使われている言葉を理解し、文章全体の要旨をとらえよう。 ・説明文の構成を考え、的確に情報を読み取ろう。 ・詩の表現技法や特徴を理解しよう。 知識・技能 ・字形を整え、筆順の原則を理解して、正しい筆順で、字形を確かめて書こう。 ・漢字の部首についての理解を深めよう。
2	- 森には魔法使いがいる - 漢字の音と訓【知識・技能】 - 根拠を明確にして意見文を書く - 昔話と古典 箱に入った桃太郎【知識・技能】 - 方言と共通語【知識・技能】 - 竹取物語 - 故事成語【知識・技能】 - 書写【知識・技能】 - 単語のいろいろⅠ【知識・技能】 - 蜘蛛の糸 - 河童と蛙 - オツベルと象	思考・判断・表現 A・紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見などを述べたりしよう。 B・相手や目的に応じてわかりやすく書けるようになろう。 C・登場人物の関係に注意して読もう。 ・作品の背景や当時の状況を知り、自分の考えを持とう。 知識・技能 ・古典の内容と自分たちのものの見方や感じ方の共通点や相違点を考えよう。 ・字の形に注意して整った字を書こう。
3	- 子どもの権利 - 単語のいろいろⅡ【知識・技能】 - 言葉がつながく世界遺産 - 少年の日の思い出 - 熟語の構成【知識・技能】 - 漫画で「物語」を表現する	思考・判断・表現 A・互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合おう。 B・図表を用いて説明をする文章を書こう。 C・作者や主人公の気持ちを考えながら、内容を読み進め、自分の考えをもとう。 ・文章の構成や展開に注意して読もう。 知識・技能 ・単語とは何かを整理して理解しよう。

3 観点別の評価方法(各観点の評価方法)

観 点	評価の資料
知識・技能	漢字・語句・文法・古典に関する知識・書写の実技作品・テスト等
思考・判断・表現	A スピーチや発表・発言の内容・聞き取りテスト等 B 感想文・意見文・テスト等 C 授業中のプリント等の表現・内容等・テスト等
主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み・発言・課題設定への意欲・ノート等内容・提出物の状況等

社会科 第1学年

- 1 目標
- (1) 歴史に対する関心を高め、近世までの日本の歴史の大きな流れと各時代の特徴を捉えよう。

(2) 地理に対する関心を高め、地図の見方、世界の国々、日本の各地域について、理解しよう。

(3) 地図やグラフ、統計資料、年表、歴史資料などを活用したり、作成したりする力を育てよう。

(4) 自分の学習状況を振り返ったり、評価したりすることで、主体的に学習に取り組む態度を身に付けよう。

2 学習計画と内容

学期	単元名・教材名	学 習 内 容	学習を進めるうえでのアドバイス
1	【地理的分野】 第1編 第1章 「世界の姿」	・地球儀の活用、緯度の違いと気温の変化、経度の違いと標準時、地球儀と世界地図。 ・6大陸と3大洋 ・世界の略地図が描ける、国々の位置や名称に慣れ親しむ。	緯度や経度について理解しよう。 大陸と海洋の形状や分布、名称、その位置関係を理解し、略地図を描こう。 さまざまな国の名や形、位置を地図を使って身につけよう。
	第1編 第2章 「日本の姿」	・日本の位置と、領域の特徴 ・各国の標準時と時差 ・各都道府県の名称と位置。日本の地域分け。	日本の国土に対する関心を高め、日本の位置と領域、都道府県の構成と地域区分を学び、日本の地域構成を大まかにとらえよう。
	第2編 第1章 「世界各地の人々の生活と環境」	・雪と氷の中で暮らす人々、寒暖の差が激しい土地に暮らす人々、温暖な土地に暮らす人々、乾燥した土地に暮らす人々、常夏の島で暮らす人々、山に暮らす人々、世界の気候区分、人々の生活に根差す宗教。	地球上のそれぞれの地域で、様々な環境にあわせて、人々がどのように生活の工夫をし、文化を作り上げていったのかを調べよう。
	【歴史的分野】 第1章 「歴史へのとびら」	小学校で学習した人物の復習、時代区分、西暦年、世紀。	時代の表し方を確実に身に付けよう。
	第2章 「古代までの日本」	・人類の進化、古代文明。 ・縄文、弥生時代、古墳文化を大陸とのつながり、埼玉古墳、聖徳太子と大化の改新、古代国家の仕組み、奈良時代の農民の生活、遣唐使、天平文化、平安京と摂関政治、国風文化。	人類の出現や古代文明の特徴、日本列島における人々の生活の変化について学ぼう。 大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられ、その後、天皇・貴族の政治を展開した日本の歴史の大きな流れをとらえよう。
2	【地理的分野】 第1編 第3章 「世界の諸地域」	・アジアの人口、ヨーロッパの統合、アフリカの産業と貿易、北アメリカの多様な民族、南アメリカの環境問題、オセアニア州の文化。	世界の諸地域の地域的特色を、アジア、ヨーロッパ、アフリカ、北アメリカ、南アメリカ、オセアニアの各州に暮らす人々の様子を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現しよう。
	第1編 第4章 「世界の様々な地域の調査」	・世界の諸地域に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げてレポートを作成する。	世界の様々な地域の地域的特色をとらえる適切な主題を設定し、世界の様々な地域の調査を行う際の視点や方法を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現しよう。
3	【歴史的分野】 第3章 「中世の日本」	・武士の成長と清盛の政治、鎌倉幕府の特徴、鎌倉時代の武士の生活、鎌倉文化、鎌倉新仏教、元寇と幕府の滅亡、建武の新政から南北朝の動乱、室町幕府の仕組み、土一揆、応仁の乱、戦国大名、室町文化。	武家政権が誕生して、武士の支配がしだいに全国に広まり武家社会が発展していったという大きな時代の流れを理解しよう。 モンゴルの襲来、倭寇、日明貿易など、この時代に東アジア世界と密接なかわりが見られたことや、それが国内の政治に影響を及ぼしたことを考えよう。

3 観点別の評価方法

	観 点	評 価 の 資 料
①	知識・技能	発問に対する解答の内容。資料の読み取り作成。定期テスト等。提出物やノートの内容等。資料の読み取り作成。発言の内容。
②	思考・判断・表現	課題に対する解答や発言内容。定期テスト等。提出物やノートの内容等。
③	主体的に学習に取り組む態度	授業態度、発言。提出物やノートの内容等。課題に取り組む態度。定期テスト等。

数学科 第1学年

1 目標

- (1) 数を正の数と負の数まで拡張し、数の概念についての理解を深める。また、文字を用いることや方程式の必要性和意味を理解するとともに、数量の関係や法則などを一般的にかつ簡潔に表現して処理したり、一元一次方程式を用いたりする能力を培う。
- (2) 平面図形や空間図形について観察、操作や実験などの活動を通して、図形に対する直観的な見方や考え方を深めるとともに、論理的に考察し表現する能力を培う。
- (3) 具体的な事象を通して、比例・反比例についての理解を深めるとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を培う。
- (4) 目的に応じて資料を収集して整理し、その資料の傾向を読み取る能力、考えを伝える力を培う。

2 学習計画と内容

学期	学習内容 (単元名・教材名・学習材など)	学習を進めるうえでのアドバイス
1	1章 正の数・負の数 - 正の数・負の数 - 正の数・負の数の計算 2章 文字の式 - 文字を使った式 - 文字式の計算	- 正の数・負の数の意味を理解し、日常の事柄と照らし合わせながら正の数・負の数の必要性や有用性を知りましょう。また、自然数・整数などの数の範囲についても正確に理解しておきましょう。 - 正の数・負の数の加法・減法・乗法・除法の計算ができるようにしましょう。交換法則や結合法則といった法則をうまく利用し、工夫しながら四則計算を速く正確に計算できるようにしましょう。 - 文字を使って数量を表すことに慣れ、文字式の表し方にしがたって式を書き、書かれた式の意味を理解できるようにしましょう。文字式の文字に数を代入することによって、式の値を求めることができるようにしましょう。 - 文字式の項や係数を理解し、加法・減法・乗法・除法の計算ができるようにしましょう。また、数量関係を等式や不等式で表せるようにしましょう。
2	3章 方程式 - 方程式 - 方程式の利用 4章 変化と対応 - 関数 - 比例と反比例 - 比例・反比例の利用 5章 平面図形 - 直線図形と移動 - 移動と作図 - 円とおうぎ形	- 等式の性質をしっかりと理解し、解を求める方法を身につけ、方程式を解けるようにしましょう。 - 実際の問題を、文字を含んだ等式を用いて能率的に処理し、問題を解決できるようにしましょう。 - 比例・反比例を変化や対応のようすを考察することを通して理解を深めましょう。 - 比例・反比例を表・式・グラフなどで表し特徴を理解していく中で、具体的な事象の考察に利用できるようにしていきましょう。 - 平面図形について用語の意味や表し方を学ぶことで理解を深めましょう。 - 図形の性質や移動について理解し、コンパスや定規を使って作図ができるようにしましょう。 - 円やおうぎ形の性質を理解し、弧の長さや中心角、面積を求めることができるようにしましょう。
3	6章 空間図形 - 立体と空間図形 - 立体の表面積と体積 7章 資料の活用 - ヒストグラムと相対度数 - データにもとづく確率	- 立体を見取図や展開図、投影図を用いて特徴や性質を理解できるようにしましょう。 - 立体を観察する中で、空間内における平面や直線の位置関係を理解しましょう。 - 立体と平面図形の関係を理解し、立体の体積や表面積を求められるようにしましょう。 - 目的に応じてデータを収集して分析し、資料の傾向を読み取り、考察し判断することができるようにしましょう。 - 多数の観察や多数回の施行によって得られる確率の必要性和意味を理解しましょう。

3 観点別の評価方法(各観点の評価方法)

	観 点	評価の資料
①	知識・技能	○授業中の取組（問題演習の結果）など ○定期テスト
②	思考・判断・表現	○授業中の取組（発表内容・レポート課題の内容）など ○定期テスト
③	主体的に学習に取り組む態度	○授業の取組方（目標設定と振り返り用紙の内容）など ○提出物（ファイル・問題集・その他課題の完成度）など ○定期テスト

理科 第1学年

1 目標

- (1) 生徒1人ひとりが目的意識をもった観察、実験を行うことにより、科学的に調べる能力を育て、科学的な見方や考え方を養う。
- (2) 日常生活との関連を図った学習を行う。自然環境と人間との関わりを重視した実験や観察を積極的に取り入れていく。

2 学習計画と内容

学 期	学 習 内 容	学 習 を 進 め る う え で の ア ド バ イ ス
1	【身近な生物の観察】 【花のつくりとはたらき】 【植物のからだのつくり、植物の分類】 【動物の分類】 - 観察のしかた、記録のしかたを身につける。 - 身近な生物の観察から特徴を見いだす。 - 特徴から分類し、種類を知る方法を身につける。	「知識及び技能」ルーペ・顕微鏡の使い方、スケッチの方法など、練習を重ねて正しくできるようにしましょう。 「思考力、判断力、表現力等」生物の観察、植物の体のつくり、植物や動物のなかまに関する事物・現象の中に問題を見だし、積極的に自らの考えを表現しましょう。 「主体的に学習に取り組む態度」植物のからだのつくりや、植物や動物のなかまに関する事象に積極的に関わりましょう。
2	【身のまわりの物質とその性質】 【気体の性質】 【水溶液の性質】 【物質の姿と状態変化】 - 実験器具の使い方を身につける。 - 記録や分析のしかたを身につける。 - 物質の性質を調べ、固有、共通の性質を知る。 - 物質が起こす現象を粒子の振舞として考える。 - 物質を分離する方法を身につける。 【光の世界】 【音の世界】 【力の世界】 - 光音力による現象を調べ、規則性を見いだす。 - 光音力による現象を身近な現象と関連付ける。	「知識及び技能」上皿天秤・メスシリンダー・ガスバーナーなどの使い方、ろ過・蒸留のやり方など、化学実験を適切な方法で行えるようになります。 「思考力、判断力、表現力等」質量が変化するとき物質の出入りがあることを理解しましょう。 物質が目に見えないくらい小さい粒でできていることを基本として現象を考えましょう。 「主体的に学習に取り組む態度」物質の共通性と多様性に興味をもちましょう。 「知識及び技能」光の進路の作図、振幅・振動数と音の関係の観察、力の表現方法などをたくさん練習してできるようになります。 「思考力、判断力、表現力等」光・音・力の規則性などについて自らの考えを導き、積極的に表現しましょう。 「主体的に学習に取り組む態度」光・音・力の正体と性質、それぞれが起こす現象などに興味をもちましょう。
3	【火をふく大地】 【動き続ける大地】 【地層から読みとる大地の変化】 - 火山の種類や特徴を理解する。 - 火山の形や噴出物、岩石などをマグマの性質と関連付けて考える力を身につける。 - 記録などから地震の特徴や仕組みを理解する。 - 自然災害への関心、防災意識を高める。 - 地層、岩石、化石の観察から大地の歴史を論理的に考える力を身につける。	「主体的に学習に取り組む姿勢」日本の地形に興味をもちましょう。火山活動や地震が地球上のどのような場所で起きる現象なのかに興味をもちましょう。 「思考力・判断力・表現力等」日本はプレート境界上に位置していることなどから、火山の噴火や地震などが起きやすい。その理由やメカニズムを考えましょう。地層や化石などから大地の歴史を推理できるようになります。 「知識及び技能」露頭（地層）の観察 ボーリング調査と地質柱状図の関連を知り、大地の様子を知ることができるようになります。火山灰から鉱物を取り出す方法を身につけましょう。

3 観点別の評価方法（各観点の評価資料）

	観 点	評 価 の 資 料
①	「知識及び技能」	定期テスト、小テスト、実験・観察レポート、授業中の様子等
②	「思考力、判断力、表現力等」	定期テスト、小テスト、実験・観察レポート、授業中の様子等
③	「主体的に学習に取り組む態度」	提出物(授業プリント、実験・観察レポート、ワーク、宿題等)、授業に臨む姿勢、定期テスト、授業中の様子等

グローバル・スタディ科 第1学年

1 目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する。

コミュニケーション能力のGOAL

- はっきりと話された日常的话题についての会話やスピーチを聞いて、必要な情報を聞き取ることができる。
- 日常的话题について、簡単な語句や文で書かれた短い文章を読んで概要や、必要な情報を読み取ることができる。
- 自分のことや関心のあることについて、即興でたずねたり答えたりすることができる。
- 自分のことや興味のあることについて、簡単な語句や文を用いて、即興で話すことができるようにする。
- 自分のことや関心のあることについて、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。

2 学習計画と内容

学 期	学習内容（題材名）	学習を進める上でのアドバイス
1	・小学校で学んだ表現 ・アルファベットの文字と音、つづりと発音 ・英語の語順 ・単語や文の書き方 ・友達を作ろう ・発表上手になろう ・1－Bの生徒たち ・Action Corner ・タレントショーを開こう ・考えを整理し、表現しよう ・ハンバーガーショップへ行こう ・Let's Enjoy Japanese Food.	☆自分について相手にわかってもらえるように、好きなものやできることなどについて伝えたり、質問に答えたりしよう。 ☆アルファベットの太文字・小文字、つづり字と発音の関係の理解をもとに、単語を正確に聞いたり書いたりしよう。 ☆自分について相手にわかってもらえるように、自分のことについて書いてみよう。 ☆基本的な英語の単語や文の書き方の理解をもとに、英文を書こう。 ☆相手のことをよく知ったり、自分のことをよく知ってもらったりするために、相手のことについて知りたいことを質問したり、その質問に適切に答えたりしよう。 ☆相手の情報を得るための質問をしたり、その質問に答えたりしよう。 ☆日本の特徴的なものや人について、事実や経験をもとにしながら紹介しよう。
2	・Pajama Day ・持ち主をたずねよう ・The Way to School ・話の組み立て方を考えよう ・Research on Australia ・疑問詞のまとめ ・学校案内をしよう ・聞き上手になろう ・Happy New Year! ・ショッピングをしよう	☆事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある紹介文を書こう。 ☆相手にわかりやすい話の組み立て方の理解をもとに、論理立ててスピーチ原稿を書こう。 ☆海外の人にさいたま市や日本について興味をもってもらうために、おすすめスポットや行事などについて発表しよう。 ☆簡単な語句や文などを用いて、相手が行きたい場所や行き方などを伝え合おう。 ☆発表を聞くときに気をつけるべきポイントを理解し、発表者が気持ちよく話せる聞き方で聞いてみよう。 ☆調べたことをもとに簡単に紹介したり、聞き手からの質問に適切に答えたりしよう。
3	・A Trip to Finland ・発表用メモを活用しよう ・インタビューを聞こう ・私が選んだ1枚 ・Grandma Baba's Warming Ideas! ・絵や写真を英語で表現しよう ・絵はがきを書こう	☆相手のメールから必要な情報を読み取り、自分の考えや気持ちなどが伝わるように返事を書いてみよう。 ☆話したい内容を簡潔にメモにまとめ、発表しよう。 ☆発表する内容や順番を考え、スピーチ原稿を書こう。 ☆事実や経験、自分の考えなどを整理して発表したり、その発表を聞いて概要を適切に捉えたりしてみよう。 ☆手紙で使う表現の理解をもとに、絵はがきの内容を読み取ったり書いたりしよう。

3 観点別の評価方法

	観 点	評 価 の 資 料
①	知識・技能	定期テスト、小テスト
②	思考・判断・表現	定期テスト、パフォーマンステスト、小テスト
③	主体的に学習に取り組む態度	拳手や発言、コミュニケーション活動への取り組み、積極的に英語を使ってコミュニケーションをしよう・続けようとする態度・意欲、パフォーマンステスト、課題の提出等

音楽科 第1学年

1 目標

- (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を楽しく豊かなものにする態度を育てる。
- (2) 音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身につけ、創造的に表現する能力を育てる。
- (3) 多様な音楽に興味・関心を持ち、幅広く鑑賞する能力を育てる。

2 学習計画と内容

学期	学習内容（単元・節など）	学習を進める上でのアドバイス
1	○校歌（歌唱） ○春（鑑賞） ○合唱コンクール学年合唱曲（歌唱）	○正しい姿勢や音程で明るく元気よく歌おう。 ○情景を想像しながら、ヴィヴァルディの曲を鑑賞しよう。 ○パート練習に協力して取り組もう。 ・正しい音程とリズムで歌えるようにしよう。
2	○合唱コンクール自由曲（歌唱） ○クラシックギター（器楽） ○魔王（鑑賞） ○リズム創作（創作）	○ハーモニーを意識して、響きのある声で合唱しよう。 ○楽器の奏法や音色をよく聴き、演奏しよう。 ○詩と音楽の構成を学びシューベルトの歌曲を鑑賞しよう。 ○言葉の重なりを意識して音楽をつくろう。
3	○六段の調べ（鑑賞） ○箏「さくらさくら」（器楽）	○情景のイメージや楽器の特徴を捉えよう。 ○和楽器の音色をよく聴き、演奏しよう。

3 観点別評価について

	観点	評価の資料
①	知識・技能	・実技テストの技能点数 ・定期テスト
②	思考・判断・表現	・美しく豊かな音色を目指し、表現を工夫しているか （プリントの記入内容） ・様々な音楽の特徴を意識して聴きとり、具体的な感想を述べることができるか （プリントの記入内容） ・実技テストの表現力の点数 ・定期テスト
③	主体的に学習に取り組む態度	・パート練習、グループ練習や全体練習に対する積極性 ・意欲を持って学ぶ姿勢（聴く態度・挙手・発言・パート練習） ・パートリーダーとしての積極性（練習時の取り組み） ・振り返りシートの記載内容

美術科 第1学年

1 目標

- (1) 造形的な視点を理解し、表現方法を創意工夫して、創造的に表現できる。
- (2) 美しいと感じる心(感性)や創造する力を高め、様々な見方や動きなどについて考えることができる。
- (3) 主題(自らのテーマ)を生み出し、発想・構想を練り、造形的な美しさを追求する。
- (4) 美術作品や文化遺産などについて理解を深め、よさを感じ取りながら鑑賞する。

2 学習計画と内容

学期	学習内容(単元名・教材名・学習材など)	学習を進めるうえでのアドバイス
1	「ガイダンス」 「教科書からお気に入りを見つけよう」 「日常の中の美術館へ行こう」 「見つめて、感じて、描いて」 「暮らしを彩る土の造形」	・学習内容を把握しよう。 ・絵画、彫刻、デザイン、工芸からそれぞれ一つずつお気に入りの作品を教科書から見つけよう。 ・色や形に注目して構想しわかりやすく伝えよう。 ・土から出来る造形の良さを感じ取ろう。
2	「刷って出会う楽しさ」 「色の世界」 ・三原色について ・色相環、補色、 ・パターン 「ニッポン絵文字の旅」 ・レタリング	・木版の特性を生かし、彫り工夫をして版画を楽しもう。 ・色彩の基礎知識を身に付けよう。 ・パターンを作ってみよう。 ・作品を発表して、よさを味わおう。 ・言葉の意味をイラストにして文字をデザインしよう。
3	「わたしの気持ちをカードに込めて」 ・デッサン 「屏風、美のしかけ」	・紙の特性形色彩構成に着目して形作ろう。 ・紙の素材を生かした制作をし、鑑賞しあおう。 ・鑑賞を通して、時代背景や作者の思い、作品のよさを味わおう。

3 観点別の評価方法(各観点の評価方法)

	観 点	評価の資料
①	知識・技能	☆自分の興味関心、好きなものを理解、探究している。 ・造形的な視点について理解している。 ・自分の考えたアイデアを表せるように、材料を理解し、表現を工夫している。 ・技法を効果的に使い、素材の特性を理解した上で制作をしている。 【ワークシート、小テスト、用具の扱い、作品】
②	思考・判断・表現	☆興味関心のあるものを軸に、自分のつくりたいもの(主題を生み出すこと)ができる。 ・「知識・技能」を踏まえ、主題(自分のテーマ)を設定する。 ・心豊かに発想、構想を練る。 ・見方や感じ方を広げている。 【ワークシート、振り返りシート、作品】
③	主体的に学習に取り組む態度	☆毎時間、自分の理想の作品完成に向けて、現状(時間、技量)をすり合わせ、修正を重ねながら進めることができる。 ・「知識・技能」、「思考・判断・表現」を踏まえ、学習に意欲的、かつ持続的に取り組んでいる。 ・自ら楽しく美術の活動を継続的に取り組んでいる。 【振り返りシート、授業中や制作への取り組みの様子、作品等】

技術・家庭科（技術分野） 第1学年

1 目標

- 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換、情報等の技術についての基礎的な理解と技能及び、技術と生活や社会とのかかわりの理解を深める。
- 生活や社会の中から技術にかかわる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を育む。
- よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2 学習計画と内容

学期	学習内容	学習を進めるうえでのアドバイス
1	【ガイダンス】 3年間の学習について理解する。 【生物育成の技術】 ・生物育成の原理・法則と仕組みと生物育成の技術による問題解決について理解する。 ・ミニトマトの育て方を理解する。 【材料と加工の技術】 ・いろいろな材料について理解する。 ・生活に役立つ作品について理解する。 （発明創意工夫展の作品）	・3年間の学習について理解しよう。 ・生物育成の原理・法則と仕組みと生物育成の技術による問題解決について理解しよう。 ・ミニトマトの育て方を理解しよう。 ・いろいろな材料について理解しよう。 ・生活に役立つ作品について理解しよう。
2	【材料と加工の技術】 ・本立ての製作の計画をする。 ・本立ての製作方法について理解する。	・本立ての製作の計画をする。 ・本立ての製作方法について理解する。
3	【材料と加工の技術】 ・本立ての製作の工具の使用方を理解する。 ・本立ての製作ができるようにする。 【情報の技術】 ・コンピュータの構成と基本的な情報処理について理解する。 ・情報モラルについて理解する。	・本立ての製作の工具の使用方を理解しよう。 ・本立ての製作ができるようにしよう。 ・コンピュータの構成と基本的な情報処理について理解しよう。 ・情報モラルについて理解しよう。

3 観点別の評価方法（各観点の評価方法）

観 点	評価の資料
知識・技能	生活や技術に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、生活と技術とのかかわりについて理解している。（定期テスト等） 生活に必要な基礎的・基本的な技能を身に付けている。（作品を製作する技能）
思考・判断・表現	生活について見直し、課題を見付け、その解決をめざして自分なりに工夫し解決しようとしている。（プチトマトの観察ノートやものづくりの設計など）
主体的に学習に取り組む態度	生活や技術について関心を持ち、生活を充実向上するために進んで実践しようとする。（挙手、提出物、授業態度等）

技術・家庭科（家庭分野） 第1学年

1 目標

- ・ 目的に応じた着用、個性を生かす着用、衣服の適切な選択、衣服の計画的な活用ができる。
- ・ 日常着の手入れや製作するものに適した材料を選択することができる。
- ・ 実践を評価・改善し、考察し、課題解決する力を身につける。

2 学習計画と内容

学期	学習内容	学習を進めるうえでのアドバイス
1	ガイダンス（3年間の学習の紹介） 『中学生になるまで』 ・ 自分の成長を振り返り、中学生である自分と家族や家庭生活・地域との関わりについて考える。 1. 目的に応じた衣服の選択 ・ 衣服のはたらきがわかる ・ 自分らしい着方を工夫する ・ 衣服の選択 2. 日常着の手入れと保管 ・ 衣服の手入れができる	・ 3年間の学習の内容を把握しよう。 ・ ここまで育ててくれた家族に対しての感謝や家庭のはたらきや仕事を考えよう。 ・ 気候に合わせ、自分らしい着方が工夫できるよう考えてみよう。 ・ 家族の一員として洗濯機を使った手入れができるようになろう。
2	3. 生活を豊かにするものの製作 ・ 布による作品で生活を演出① ・ 製作の基礎・基本	・ 小学校で学習した基礎・基本を思い出しながらかペットボトルホルダーを作ろう。
3	・ 布による作品で生活を演出② 4. 持続可能な衣生活を目指して	・ 基礎を応用し、タブレットカバーを作ろう。 ・ 自分の衣生活を振り返り、問題点を考えてみよう。

3 観点別の評価方法（各観点の評価資料）

	観点	評価の資料
①	知識・技能	・ 目的に応じた選択や着用の仕方を理解することができる。 ・ 日常着の手入れについて理解することができる。 ・ 製作するものに適した材料や縫い方、用具の安全な取り扱い方、製作が適切にできる。 【期末テスト・学習プリント・レポート・実習・実技テストなど】
②	思考・判断・表現力	・ 日常着の手入れの仕方や生活を豊かにするためのものの製作計画や製作について問題を見出して課題を設定し、解決する理科らを身につけることができる。 【学習プリント・レポート・実習など】
③	主体的に学習に取り組む態度	・ 授業に意欲的に取り組み学習した内容を家庭生活の中でも実践していこうとしている。 【学習プリント・レポート・実習・実技テストなど】

保健体育科 第1学年

1 目標

- (1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身につけるようにする。
- (2) 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人ひとりの違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意して、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。

2 学習計画と内容

学期	学習内容(単元名・教材名・学習材など)	学習を進めるうえでのアドバイス
1	体づくり運動 新体力テスト 体育祭練習 球技Ⅰ バドミントン・卓球 水泳 クロール、平泳ぎ、(背泳ぎ) 運動やスポーツの多様性 健康な生活と疾病の予防①	○仲間と協力し、明るく元気よく運動に取り組みましょう。 ○苦手な運動にも積極的にチャレンジすること。失敗しても恥ずかしくない雰囲気を作りましょう。 一生懸命はかっこいい！ ○学習カードは具体的な内容を書くことを心掛けよう。 何ができて、何ができないのか。どうやったらできるようになると思うか。次回の授業で意識することは何か。 自己の課題を発見し、その解決方法を考えて学習カードを記入しましょう。 ○運動が得意な人は積極的に仲間にアドバイスをすること。授業ではそういう姿勢を見えています。 ○定期テストは「知識・技能」の評価に大きく関係します。運動が得意な人もしっかりテスト勉強をしなければいけません。逆に、運動が苦手な人もテストを頑張ればAをとるチャンスは十分にあります。
2	球技Ⅱ バレーボール ソフトボール 陸上 長距離走、ハードル走 器械運動 マット運動・跳び箱運動 ダンス 現代的なリズムのダンス 心身の機能の発達と心の健康	
3	陸上 ハードル走 器械運動 マット運動・跳び箱運動 球技Ⅲ サッカー 武道 剣道 球技大会練習	

3 観点別の評価方法(各観点の評価方法)

	観 点	評価の資料
①	知識・技能	〈運動の特性に応じた基本的な動きや技能〉 (例)・技能テスト(発表会など)・競技の記録・練習やゲームでの動き 〈生涯にわたって運動に親しむための理論及び健康・安全についての基礎的な知識〉 (例)・定期テスト・練習やゲームの進め方・ルール理解・レポート
②	思考・判断・表現	〈運動の仕方や取り組み方、組合せ方を工夫するとともに、健康・安全について考え、判断し、表現する力〉 (例)・学習カードの内容・課題に沿った練習やゲーム、グループ活動の動き(アドバイス)・安全への配慮
③	主体的に学習に取り組む態度	〈運動に積極的に取り組み、健康・安全を確保して意欲的に学習しようとする態度〉 (例)・取組の様子(挨拶・返事・準備運動・話を聞く姿勢)